

2017年10月18日

各位



カンヌライオンズが開催するアジア最大級の広告祭 Spikes Asia 2017 22カ国・地域、4,301作品の中からフィルム部門で入賞 太陽ホールディングス CM「石油男とマッチ女」

～映画「東京喰種トーキョーグール」萩原健太郎氏が監督！感動ストーリーで絶縁材の役割を表現～

太陽ホールディングス株式会社(本社:東京都練馬区、代表取締役社長:佐藤 英志)が、2017年3月1日より、テレビ埼玉にて放映中のCM「石油男とマッチ女」が、2017年9月29日(金)にカンヌライオンズが開催した広告祭 Spikes Asia 2017にて、22カ国・地域、4,301作品の中からフィルム部門ファイナリストに入賞しました。



太陽ホールディングスグループが作っているのは、回路と回路を絶縁する世界シェアトップクラスの緑色のインキ「ソルダーレジスト」です。「石油男」と「マッチ女」の間を取り持つ絶縁材の役割を感動のストーリーで表現し、一言では表わしにくい「絶縁」という状態をユーモラスに紹介したCMです。

本CM動画は、当社コーポレートサイト(<https://www.taiyo-hd.co.jp/jp/>)で公開中です。

■ Spikes Asia 2017 とは

Spikes Asia(スパイクス アジア)は、カンヌライオンズの地域版フェスティバルとして、ヨーロッパの Eurobest (ユーロベスト)、中東の Dubai Lynx (ドバイリンクス) と並ぶ、アジア最大級の広告賞で、毎年9月にシンガポールで開催されています。

以上

太陽ホールディングス株式会社